



～富岡市とフランスの交流の歴史～



- 1872 (明治 5) 年 10 月 富岡製糸場設立 (設立指導者：フランス人技師ポール・ブリユナ)
- 1972 (昭和 47) 年 10 月 富岡製糸場設立 100 周年を記念してブル・ド・ペアーージュ市よりメダルを贈呈
- 2008 (平成 20) 年 フランスで世界遺産登録に向け資料の調査を開始
- 2008 (平成 20) 年 10 月 パリ日本文化会館主催「日仏交流 150 周年記念シンポジウム」参加
- 11 月 リヨン市民との交流ツアー実施
- リヨン商工会議所主催「シルクマーケット」出展
- 2009 (平成 21) 年 11 月 リヨン商工会議所主催「シルクマーケット」出展
- 2010 (平成 22) 年 5 月 第 2 回日仏自治体交流会議 (金沢市) 参加
- 2011 (平成 23) 年 5 月 フランスで行われた企画展「絹の歴史と富岡製糸場」で講演
- 2012 (平成 24) 年 8 月 第 3 回日仏自治体交流会議 (シャルトル市) 参加
- ブル・ド・ペアーージュ市表敬訪問
- フランス人国際交流員を採用 (JET プログラム)
- 2013 (平成 25) 年 8 月 第 4 回日仏自治体交流会議 (高松市) 参加
- 2014 (平成 26) 年 10 月 富岡製糸場で企画展「ボネとトミオカ」開催
- 2015 (平成 27) 年 2 月 第 5 回日仏自治体交流会議 (トゥール市) 参加 (市長が日本側自治体を代表して講演)
- 11 月 富岡製糸場世界遺産登録記念大型文化事業「絹が結ぶ縁」開催
- ブル・ド・ペアーージュ市と友好都市協定を締結
- 2016 (平成 28) 年 5 月 上州富岡駅前「春のとみおかフランス祭の群馬」開催
- 10 月 富岡どんと祭りにブル・ド・ペアーージュ市視察団を招待
- 富岡製糸場で企画展「友好都市協定締結記念事業ブル・ド・ペアーージュ展」開催
- 12 月 富岡製糸場で「日仏交流講演会」開催
- 2017 (平成 29) 年 1 月 富岡製糸場で企画展「明治大学 クリスチャン・ポラック コレクション展」開催 (2 月 12 日まで) (11 ページで紹介)



**ダミアン・ロブション (29)**  
フランス北西部サブレ＝シュル＝サルト市出身。平成 25 年 8 月から国際交流員として、富岡製糸場で勤務。堪能な語学力を生かし、外国語文献の翻訳や外国人来場者の通訳などを主な業務としている。日本とフランスをつなぐ担い手として活躍中。

富岡市民の皆さん、ボンジュール！平成 25 年 8 月から富岡市国際交流員として働いているフランス出身のダミアン・ロブションです。フランスとの交流を中心とした富岡市の国際戦略や富岡製糸場の国内外向けの情報発信などに従事しています。

私が着任した時、140 年ぶりに富岡製糸場に勤めるフランス人職員として少し話題になったのですが、富岡市とフランスの歴史的な関係が再び脚光を浴びたのはもちろん平成 26 年の世界遺産登録です。

世界遺産登録を機に、明治 5 年に明治政府に雇われたフランス人指導者のポール・ブリユナがここ富岡の地にいち早くまいた日仏交流の種が見事な花を咲かせ続けています。フランス・リヨン市で実施された大型文化事業「絹が結ぶ縁」の開催、ブリユナの故郷であるブル・ド・ペアーージュ市との友好都市協定締結、春のとみおかフランス祭の群馬や富岡市とフランスの関係を紹介した各種企画展など、富岡市の日仏交流の発展に貢献する事業が盛んに行われていることを、フランス人職員として大変うれしく思っています。

結びに、富岡市民の皆さんが富岡製糸場を日本の近代化のシンボルだけではなく、富岡市の日仏交流の過去と未来をつなげるプラットフォームとしても、これからもずっとたいせつにしていきたいと、ブル・ド・ペアーージュ市や富岡製糸場と関係の深いフランス都市などにも訪れていただければ幸いです。

国際交流員ダミアン・ロブションのコメント

フランス  
France



フランス共和国 データ	
面積	67 万 2,369 平方キロメートル (海外領土および海外県を含む)
人口	約 6,699 万人 (2017 年 1 月)
首都	パリ
位置	西ヨーロッパ (出典：仏国立統計経済研究所)

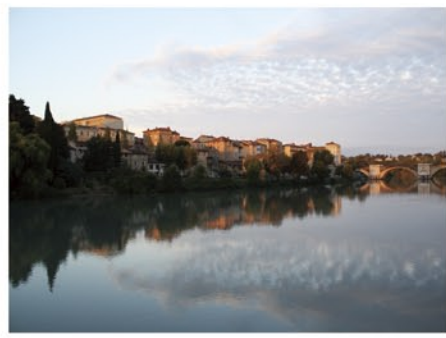


富岡製糸場で生まれた  
日仏交流の絆  
シルクの如く輝き、未来へつながっていく

富岡市と交流のあるフランス都市の紹介

ブル・ド・ペアーージュ市 (ドローム県)

富岡製糸場の設立指導者であるフランス人技師ポール・ブリユナの生誕地であることが縁で、2015 (平成 27) 年 11 月に本市と友好都市協定を締結しました。ポール・ブリユナが、上州の景色を見て、故郷を思い出したという記述があるように、ブル・ド・ペアーージュ市の美しいイゼール川や森林公園などの自然環境は本市と通じるものがあります。



ポール・ブリユナ (1840 - 1908)

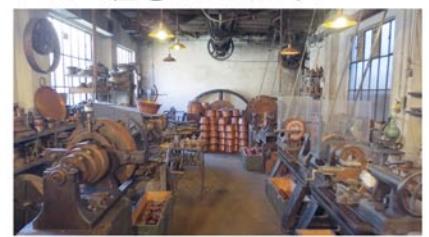
リヨン市

歴史ある世界的に有名な絹の都です。富岡製糸場の官営期、富岡製糸場でひかれた生糸が横浜港からリヨンに渡り、絹織物となっていました。富岡シルクブランド協議会が、2008 (平成 20) 年、2009 (平成 21) 年にリヨン市で開催された「シルクマーケット」に出展。2015 (平成 27) 年 11 月には、富岡製糸場世界遺産登録記念大型文化事業「絹が結ぶ縁」の会場となりました。



セルドン村 (アン県)

セルドン村に位置するセルドン銅工場には、富岡製糸場に繰糸器の部品を提供し、器械を調整する技術者を派遣したという契約書の原本が残っており、2016 (平成 28) 年 10 月、富岡製糸場で実施した企画展「友好都市協定締結記念事業ブル・ド・ペアーージュ展～周辺地域の歴史的産業に光をあてて～」で日本初公開となりました。発泡ロゼワインの産地でもあります。



ジュジュリユー村 (アン県)

ジュジュリユー村に位置するボネ絹工場は、富岡製糸場のモデル工場とも考えられる工場で、展示協力や交流を積み重ねています。2015 (平成 27) 年 2 月、富岡製糸場で実施した企画展「ボネとトミオカ」では、富岡製糸場とボネ絹工場の類似性、工場システムの変遷などについて検証し、広く情報発信しました。現在は、アン県の博物館となっています。

